

令和2年 9月定例会

福井県議会だより

第30号

審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください



定例会の概要

9月定例会は、9月8日に開会し、10月7日まで30日間にわたって審議を行いました。

開会日の知事の提案理由では、新型コロナウイルスの感染拡大防止と経済再生の両立を図るため、インフルエンザの流行期前に検査体制を1日3千件まで拡充することや県内消費喚起のための「デジタルバウチャー」を発行することなど、県政の主要課題も含めた議案の説明があり、予算編成に当たっては、団体等の要望や6月議会での議論を反映させているとの報告がありました。

今定例会では、コロナ禍にあつての感染症対策の現状や課題、観光産業など県内産業界への対応が議論の

中心となりましたが、他にも北陸新幹線の工事進捗状況や並行在来線区間への特急乗り入れ、教員負担の軽減と中高の部活動の地域移行などをはじめ、嶺南快速鉄道の基金活用、原子力政策の方向性、県産甘えびのブランド力向上、福井空港の小型ジェット機利活用など県政全般に及ぶ広範な議論が行われました。

こうした審議を経て、閉会日に追加上程された補正予算案等4件を含めた22議案が可決または同意されました。また、議員発議で提出された子どもの家庭教育支援の充実を目指す「福井県家庭教育支援条例案」と意見書3件が可決され、請願2件についても採決されて今定例会に付議された案件の審議を終了しました。

福井県家庭教育支援条例について

福井県議会では、家庭の教育力を高めて子どもの健全な育成を図るため、昨年7月に各会派の議員で構成する「議員提出条例検討会議」を設置し、他県条例の分析や条文作成のほか、福井県教育庁等との意見交換やパブリックコメントを行い、9月定例会において、議員提案により「福井県家庭教育支援条例」を制定しました。



議員提出条例検討会議（令和元年7月～2年8月）

会 長 西本 正俊 議員（県会自民党）※令和2年7月まで 田村康夫前議員

会長代理 鈴木 宏治 議員（無 所 属）

委 員 細川かをり 議員（無 所 属）長田 光広 議員（県会自民党）

清水 智信 議員（県会自民党）渡辺 大輔 議員（民主・みらい）

山浦光一郎 議員（県会自民党）

●条例制定の背景

全国的に地域のつながりの希薄化等を背景に、子育ての悩みや不安を抱えたまま保護者が孤立してしまうことが懸念されている。また、一人親家庭の増加や子どもの貧困など、家庭教育を行う上で困難な状況が顕在化しており、社会全体で子育て家庭を支援する必要性が高まっている。

●福井県家庭教育支援条例のポイント

目的

- 家庭教育の支援に関し、県の責務、保護者の責務と役割、祖父母の役割、学校等の役割、地域住民等の役割、事業者の役割を明確化
- 家庭教育の支援に関する施策等について基本事項を定め、子どもの生活のために必要な習慣の確立、自立心の育成や心身の調和のとれた発達に寄与

基本理念

- 家庭が教育の原点であり、全ての教育の出発点
- かけがえのない子どもの個性を尊重し、多様な家庭環境に配慮
- 保護者が子どもの教育について第一義的責任を有し、行政、祖父母、学校等、地域住民等、事業者その他の全ての構成員が、相互に協力して家庭教育を支援
- 家庭における就学前教育に重点

家庭教育を支援するための施策

- 親としての学び・親になるための学びの支援
- 家庭教育に関する相談体制の整備、広報および啓発
- 「家庭教育を実践する日」（毎月第3日曜日）の制定など

※条例の全文は、福井県議会ホームページをご覧ください。



代表質問

県会自民党 仲倉 典克 議員



知事の政治姿勢について

- ・県内において、新型コロナウイルスとインフルエンザ双方の検査ができる体制の整備に向けた課題と今後の対応について、所見を伺う。

観光行政について

- ・「ふくいdeお泊りキャンペーン」の事業成果および「Go To トラベル」による県内の宿泊状況、「ふくいdeお得キャンペーン」の実施見通しを伺うとともに、新たな観光促進事業で期待される効果について、所見を伺う。

県会自民党 西本 正俊 議員



農林水産行政について

- ・北陸新幹線県内開業に向けた嶺南ブランド魚の流通体制の整備状況と、地魚のプレミアムブランド確立に向けた販売戦略やPR戦略について、所見を伺う。

教育行政について

- ・県立高校での同時双方向型のオンライン授業の実施に向けた課題と今後の支援の必要性について、所見を伺う。

民主・みらい 辻 一憲 議員



知事の政治姿勢について

- ・新型コロナウイルス感染症への対応について、帰国者・接触者相談総合センターの設置により、保健所の相談体制や職員負担はどのように改善されたか伺うとともに、今回の国の受診手続きの変更への対応について、どのような方針で体制を整備するつもりか、所見を伺う。

福祉行政について

- ・現在検討が進められている次期「福井県介護保険事業支援計画」においては、多重介護・老老介護を担う介護者の負担軽減策について盛り込まれるものと考えているが、これまでの議論で検討されている課題、そして取りまとめた対応策の方向性について、所見を伺う。

一般質問

県会自民党 小堀 友廣 議員



- ・福井県地域振興基金について
- ・三方五湖エリアの観光について
- ・観光列車について
- ・海岸漂着ごみについて
- ・道路の安全・安心について

コロナ禍、観光を始めとする産業の活性化について政策提案していきたい

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・災害時における新たな避難所の開設について
- ・中高生のSNSによる悩み相談について
- ・GIGAスクール構想の進め方について
- ・公共交通空白地交通確保モデル事業について

コロナ禍での災害時における新たな避難所の開設等についていただきました

県会自民党 清水 智信 議員



- ・コロナの前向きな対策について
 - (1)県民の消費喚起について
 - (2)サテライトオフィス、企業誘致について
 - (3)マイクロツーリズムについて
 - (4)テレワークの推進について

コロナはピンチですが、それをチャンスに変える政策が必要です

公明党 西本 恵一 議員



- ・新型コロナ第3波に向けた対策について

インフルエンザ流行期を前に、きめ細やかな新型コロナ対策を要望

一般質問

民主・みらい 野田 哲生 議員



- ・公立・公的病院の医療従事者の実態について
- ・コロナ禍での冠婚葬祭のあり方について
- ・守るべき農業とスマート農業の普及について
- ・マイナンバーカードとマイナポータルについて

公立医療機関の実態や冠婚葬祭のあり方を指摘し、解決に向け議論しました

日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・新型コロナ 社会的検査の拡充を
- ・原子力行政 コロナ禍での原子力防災
- ・北陸新幹線に伴う北陸本線第三セクターの課題
- ・いま求められるのは家庭生活支援!

インフルエンザ流行期。コロナとの検査拡充がますます必要ですね!

県会自民党 田中 三津彦 議員



- ・県立大学の古生物学関係の新学部について
- ・各種検診の実施状況について
- ・感染症医療拠点、災害拠点となる病院の防災体制について

恐竜博物館の近傍に県立大学新学部を整備し、世界一の恐竜研究拠点に!!

県会自民党 兼井 大 議員



- ・観光・産業の振興について
- ・教育行政について
- ・少子化対策について
- ・福祉行政について
- ・農業の振興について

県会自民党 長田 光広 議員



- ・教育政策について
- ・人口減少対策について
- ・地球温暖化対策の推進について
- ・スマート農業について
- ・福井空港利活用等について

コロナ対策は勿論、アフターコロナを見据え志高くチームふくい頑張ります

県会自民党 松崎 雄城 議員



- ・北陸新幹線開業に向けたまちづくりについて
- ・移住・定住について
- ・学校・学生について

間近に控えた北陸新幹線開業に向けて県内機運を高めてまいります!

県会自民党 山本 建 議員



- ・自転車利用の安心・安全対策について
- ・北陸新幹線と並行在来線の機運盛り上げについて
- ・全天候型の子どもの遊び場について

安心安全な自転車利用について少し前進できたと感じます

民主・みらい 北川 博規 議員



- ・外国人生徒の教育について
- ・子どもの貧困の実態把握について
- ・金ヶ崎周辺整備について
- ・学校職員の勤務実態の把握について

各計画や施策に掲げられた取組みの確実な具現化を求めています

県会自民党 宮本 俊 議員



- ・新型コロナウイルス感染防止対策について
- ・福井県のBCPとテレワークについて
- ・吉野瀬川ダムについて

テレワークはもはや緊急事態対応ではありません。平時での対応整備を!

県会自民党 山浦 光一郎 議員



- ・小規模事業者等再起支援金について
- ・コロナ感染防止ステッカーについて
- ・犯罪被害者支援条例について
- ・経済活性化(朝倉氏遺跡とIT化)について
- ・雇用状況について

コロナ禍においても、前向きな提案ができるように頑張っていきます!

県会自民党 田中 宏典 議員



- ・治水対策と河川整備について
- ・今後の原子力政策について

県民の安心安全を確保するため、引き続き防災・減災・国土強靱化対策を!

無所属 細川 かをり 議員



- ・フレイル対策について
- ・教育について
- ・原子力研究炉について

自粛生活が招きやすいフレイル(虚弱)は、今、喫緊の課題です



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

県会自民党 鈴木 宏紀 議員



- ・補正予算編成の方針について
- ・専決予算で執行された事業について
- ・中小企業等における感染拡大防止対策事業について
- ・デジタルバウチャーについて

県会自民党 力野 豊 議員



- ・エネルギー政策について
- ・舞鶴若狭自動車道四車線化について
- ・県内観光の促進について
(1) プロジェクションマッピング
(2) 敦賀港ナイトクルーズ

交通環境の変化を見据え、舞若道4車線に合わせたSA整備を要請すべき!!

民主・みらい 西畑 知佐代 議員



- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応について
- ・社会的養育推進の取組みについて
- ・スマート農業等の普及について

社会的養育推進の取組み、スマート農業及び小規模農家への取組みを伺う

無所属 鈴木 宏治 議員



- ・脱ハンコ
- ・中核市の混乱
- ・父親目線の子育て
- ・家庭教育支援条例
- ・新しいインターチェンジ

父親目線の子育てについて質疑しました。子どもの遊び場、育児休暇など

県会自民党 関 孝治 議員



- ・大雪対策について
- ・林業について

除雪に対して、万全の体制の確約をもらった!

県会自民党 大森 哲男 議員



- ・感染対策と経済の両立に対する心構えについて
- ・県警本部と県との連携について
- ・県庁御堀の管理について
- ・木質バイオマス発電について

コロナ禍の中しっかり備え、新たな需要を喚起し勇気を持って対応を急ぐべし!

県会自民党 山岸 猛夫 議員



- ・知事の政治姿勢について
- ・河川整備について

コロナ感染症の検査体制強化と消費喚起、河川災害対策等の質問提言をした

予算決算特別委員会では、田中 三津彦 議員、渡辺 大輔 議員、細川かをり 議員、小堀 友廣 議員、長田 光広 議員、清水 智信 議員、西本 正俊 議員、辻 一憲 議員も質問を行っています。

代表質問、一般質問を行った議員は、この欄には掲載していませんが、質問項目や審議の様子は、議会ホームページからYouTubeでご覧になれます。

◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

本会議の傍聴は、当日の先着順です。議事堂2階の傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせするモニターを配置しています（代表質問および一般質問）。

委員会の傍聴は、各委員会開催日の3日前（土・日・祝日を除く）の正午までに申込みをしてください。傍聴希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。
HP : <https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/>

◆12月定例会 会期日程

11月26日(木)	開会
12月 2日(水)	代表質問
12月 7日(月)・8日(火)	一般質問
12月10日(木)	常任委員会（総務教育）
12月11日(金)	常任委員会（厚生）
12月14日(月)	常任委員会（産業）
12月15日(火)	常任委員会（土木警察）
12月18日(金)	予算決算特別委員会
12月22日(火)	閉会

常任委員会

総務教育常任委員会

本委員会に付託された「福井県家庭教育支援条例（案）」、「福井県県税条例の一部改正について」などの6議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

また、付託された請願は、「新型コロナウイルス感染症対策を含めた地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願」など2件あり、慎重に審査を行った結果、不採択と決定しました。

所管事務の調査では、「教科担任制」について現状の確認と、専任教員を配置できない場合の対応等について質疑を行いました。このほか、「生徒などからのSNS相談」、「教職員の超過勤務時間」、「知事公舎の売却」および「JR小浜線の駅の無人化」などについて議論しました。



SNS相談事業のイメージ

産業常任委員会

本委員会に付託された「肥料取締法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について」、「漁業法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」の2議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、ふくいdeお得キャンペーンについて、「キャンペーンの概要」、「国のGo Toキャンペーンや地域共通クーポンとの関連」、「事業の部局を超えた連携」などについて質疑を行いました。このほか、「文化の振興」、「本県の求人・求職の状況」、「農林水産業への新型コロナウイルス感染症の影響」などについて議論しました。



ふくいdeお得キャンペーン
ふくいのお土産ふく袋の広報イメージ

厚生常任委員会

新型コロナウイルス感染症の影響により減収している医療機関への経営支援等について質疑を行い、委員会から「新型コロナウイルス感染症に係る医療機関への支援に関する意見書案」を提出することを全会一致で可決しました。

また、「防災対策」、「海岸漂着物の処理」、「ツキノワグマの被害防止対策」、「原子力行政」、「介護施設間相互の協力による応援体制」、「不妊治療」などについて議論しました。



視察（福井県立病院）の様子

土木警察常任委員会

本委員会に付託された「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部改正について」などの7議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、福井空港の利活用と併せた建物の改修の必要性等について質疑を行いました。このほか、「犯罪被害者等への対応」、「外国人による犯罪の状況」、「あおり運転に関する取締りの状況」、「警察署の老朽化への対応」、「防災・減災対策」、「足羽川ダム の利活用」、「中部縦貫自動車道、冠山峠道路の整備の見通し」、「道路の将来ビジョンの策定」などについて議論しました。



視察（足羽川ダム）の様子



予算決算特別委員会

本委員会に付託された「令和2年度福井県一般会計補正予算」などの予算議案4件について審議を行い、原案どおり可決または承認しました。

審査の過程であった主な質疑や意見は次のとおりです。

○新型コロナウイルス感染症対策について

感染症対策に係る補正予算案の編成方針や、専決予算により執行された事業の課題を踏まえた制度設計の見直しの必要性についての質問に対し、「補正予算の編成に当たっては、経済界、医療関係者、公共交通事業者等から意見を伺い、支援の拡充や観光客向けの取組等、財政運営について緊張感を持ちつつ、躊躇なく実施していきたい。また、専決予算に限らず全ての事業について、効果や影響を精査し、より柔軟な制度へ変更するなど随時見直しを行い、効果的な経済対策を実施していきたい」との回答がありました。

それに対し、委員から、福井県の置かれている深刻な実態を把握し、必要な財政措置を十分かつ迅速に行うこと、事業の制度設計に当たっては、検証を重ねてしっかりと組み立てていくことを強く要望しました。

また、地域振興支援策についての質問に対し、「Go To トラベルへの上乗せキャンペーンの実施、Go To Eatを活用した登録飲食店での伝統工芸品の利用促進による認知度向上や、商談会への出展に対する販路開拓支援等により売上げ回復を図っていきたい」との回答がありました。

委員からは、知事から県民への感染対策の呼びかけに加え、経済をしっかりと動かすためのメッセージも重点的に発信すべきとの意見がありました。

さらに、県内の小売・サービス業店舗で利用できる「デジタルバウチャー」についての質問に対し、スマホやタブレットによる専用アプリの利用方法等について説明がなされ、委員からは、県民にわかりやすい丁寧な説明を心がけてほしいとの要望がありました。

加えて、都内の県のアンテナショップの販売状況と見直しの進め方を質問したのに対し、「8月、9月は対前年比約9割まで売上げを戻している。現在、食の國福井館が移転を想定しているエリアの調査を行っており、来年度には移転先を決定、令和4年度

中に2館の物販・観光・催事機能を集約した新施設をオープンしたい」との回答がありました。



「感染防止徹底宣言」ステッカー

○デジタル化の推進について

本県のデジタル化をどのように推進していくのか、との質問に対し、「県内全体をデジタル化していくことが重要であり、遠隔医療やMaaS、スマート防災など、民間の力も借りながら推進体制を整備していきたい。また、行政手続については、ペーパーレス化や押印廃止等に向けて検討しており、見直しできるものから随時改正していきたい」との回答がありました。

○その他

エネルギー政策、不妊治療に係る支援、部活動、農業政策、北陸新幹線の敦賀開業時期や今後の対応の確認、嶺南Eコースト計画、クマの被害防止対策、社会的養育推進の取組、大雪・治水対策など多岐にわたり、それぞれ理事者の考え方や対応について質疑を行いました。

特集 意見交換会の開催

県議会では広報広聴活動の一環として、さまざまな分野で活躍されている県民の皆さんとの意見交換会を行っています。

今回は9月7日に、在宅介護事業に携わっている医療法人健康会の皆さんから、新型コロナウイルス感染症の影響や女性が働きやすい環境づくりなどについてご意見を伺いましたので、ご紹介します。

なお、詳しい内容は福井県議会ホームページに掲載していますのでご覧ください。

県議会広報会議 仲倉 典克会長、宮本 俊委員、西本 恵一委員、兼井 大委員
医療法人健康会 いちごデイセンター松岡（令和元年度ふくいグッドジョブ女性表彰を受賞）



◎新型コロナウイルス感染症の影響について

（議員） 新型コロナウイルス感染の影響や感染防止の取組みについてお聞かせください。

（健康会） 利用者やご家族に協力いただき、感染防止に努めるとともに、職員自身も感染しないように、いち早く職員間でスマートフォンによるリモート会議体制を整えた結果、ほぼ通常通りのサービスを提供できたと思います。

マスクや消毒液が不足する中でサービスを提供することは非常に大きなリスクがありましたが、行政からマスクなどを提供いただき大変ありがたかったです。

県の行動指針があったおかげで、利用者やご家族に対して、「県の指針でこう提言されているから守る必要がありますよ」と説明しやすかったです。

施設内で万一、感染症が出た場合であっても、組織を越えてサポートできる仕組みがあるといいですね。

◎女性が働きやすい環境づくりについて

（議員） 仕事と家庭の両立のためにどのような配慮が必要だと思いますか。

（健康会） 家庭で保育や介護を頑張っている職員が働きやすくなるよう、定時退社など、仕事と家庭の両立ができるよう取り組んでいます。

フルタイム勤務の場合、子供が保育園に入ると仕事と育児の両立が難しくなります。例えば地域の元気な高齢者の力を借りた放課後児童クラブのようなところがあると、保育園の終了時間に追われている女性にとってより働きやすくなるのではないのでしょうか。

「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見を願います。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/